

高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会報
編集人 田村佐起三

〒六〇四一八〇〇一
京都市中京区木屋町通三条上ル
電話 (〇七五) 二二五三・〇七〇七
弊NPOは「憲法を改正、経済力と軍事力の両足で健全な国体を支える国家」を求めます。

『揺れる情(こころ)』通信⑬

稲荷山武田病院院長 土屋寛之／京都医療センター緩和ケア創設者
現代の私たちが使っている言葉で面白い言葉があります。それは文字通り「おもしろい」という言葉です。

「おもしろい」という言葉を発する時、「おもしろい」「おかしい」という意味以外に「興味深い」「感動した」「教えられた」「こころが打たれた」「涙が止まらない」等、色々な意味合いを含む大変趣き深い言葉だと思っています。

同じように、色々な多種にわたる意味を含んでいる現象に「涙」があります。色々な情(こころ)の状態の時、人間は「涙」を流します。「おもしろい」「涙」「もののあはれ」は共通した意味合いを持つているのです。
日本人の情(こころ)の伝統を「おもしろい」と「涙」は受け継いでいます。

京都市京セラ美術館

7月19日～9月27日

《女性を描く女性たち》

京都を代表する人気作家やテーマをもうけた特集展示を通じて京都美術の面白さをたっぷりと感じていただくコレクションルーム。

女性が女性を描くとき、どんな女性をモデルにするのでしょうか。日本では「美人画」というジャンルが明治から昭和にかけて形成されました。そして当時の数少ない女性画家たちは、同性ならではの視点で捉えた女性像を描きました。興味深いことに、その多くは流行の服に身を包んだ女性や働く女性、また作家自身の何気ない日常のあるがままの姿を描写しています。

当館では「美人画」を描いたとされる代表的な画家、上村松園や伊藤小坡をはじめ、秋野不矩や梶原緋佐子など京都画壇で活躍した女性画家の作品を数多く所蔵しています。本特集ではそれら珠玉の作品を集めて展覧し、当時の女性画家の画業や彼女たちの見た美しい女性像を探ります。

《「伝わる」こと》

常楽臺住職 今小路覚真

「宗教2世」という言葉が、マスコミで旧統一教会の事件以後、否定的な意味あい使われています。物事の伝わりは、一歩先を歩んでいる人からわたしに伝わるものが多くあります。またそうでなければ、その物事は消えていってしまいます。

まして形のない「宗教」は、人から人に伝わることとなれば、特に世界宗教といわれる仏教、キリスト教などは2千年、あるいはそれ以上の年月に亘って伝わってきませんでした。

いわば「宗教2世」の伝わりと広がりがあったればこそ今日の宗教の姿があります。
親鸞聖人はそうして教えを伝えてきていただいた人々を、「師主知識の恩徳」と表し、そのご恩に對しては「はねをくだきても謝すべし」と示しておられます。

《チーズの発展》

イタシヨク 福村直

古代ギリシアの叙事詩オデッセイでは紀元前800年頃にはチーズがすぐれた食品であることが言及されており、既にワインとの相性の良さは知られていました。その後イタリアに渡りパルメザン、ゴルゴンゾーラも紀元前1000年頃には存在していたそうです。

古代ローマの兵士には、パン、ワイン、塩などの食料品と共にチーズが支給されました。そのため、ローマが砦を築いた土地では必ずチーズが作られたのです。こうしてチーズの製法がローマ帝国の拡大と共にスイス、フランスなどの国に伝わっていききました。インドでは、チーズとバターの中間の様なものが醍醐と呼ばれ、最高の味として仏典に登場します。現在使われている醍醐味という言葉もここからきています。チーズの発見と発展は大きな驚きだったのでしょうか。その後、時間をかけ世界中に広まり現在では数多く様々な種類が作られています。

健康レシピ

栄養士 國松美也子

《今月はビタミンB1の多い豚肉メニュー！》
夏バテ対策には、不足するエネルギーを補うのに役立つビタミンB1。ビタミンB1の吸収を高めるアリシンを含む、にんにく、ねぎ、ニラ、たまねぎなどを一緒に取りましよう！

豚肉とナスのピリ辛素麺(2人分)
豚肉200g、ナス1本(1センチ幅半月切)、ニラ1/4束、A(おろし生姜小さじ1、おろしにんにく小さじ1/2、味噌大さじ1/2、酒大さじ1、みりん大さじ1、オイスターソース小さじ1、豆板醤小さじ1/2)、ごま油大さじ1、素麺2束、3束、素麺つゆ200cc、大葉2枚、刻みネギ

①豚肉に薄力粉をまぶしてごま油で炒め、ナス②ニラと火を通し、Aの調味料を入れて炒める。②お皿にゆがいた素麺、大葉、①の具材、刻み葱をのせて、最後にめんつゆをかけて完成。

《大原流声明雑話⑬》

實光院住職 天納玄雄

天台宗の法要で一番耳にする声明曲は、三礼ではなからうか。様々な法要の冒頭に導師が独唱する短い漢語の声明曲で

一切恭敬

自帰依仏 当願衆生(体解大道 発無上意)

自帰依法 当願衆生(深入経蔵 智慧如海)

自帰依僧 当願衆生(統理大衆 一切無碍)

に節をつけて唱え、礼拝する。これを意識すれば、仏法僧の三宝を心より敬い奉ります。仏を信じて、皆が仏道を体得する尊い心をおこしますように。みほとけの教を信じて、皆が仏の叡智を授かりますように。仏法の実践者を信じて、人々が和して平和でありますように。